

生徒の皆さんや保護者の皆さんへ

山形市立第二中学校

令和の時代に入ってから、全国的に学校の ICT 環境整備が急速に進み、本校でも一人一台端末や電子黒板を使った授業が盛んに行われるようになりました。

世界的にみると、これまで日本は、先進国の中で、勉強する際の ICT の活用が遅れていると指摘されてきました。具体的には、2018 年の PISA 調査 (OECD (経済協力開発機構) が 3 年おきに実施する国際的な調査) によると、日本は学校の授業におけるデジタル機器の利用時間が短く、OECD 加盟国中最下位だったようです。また、コンピュータを使って宿題をする頻度も、加盟国中最下位でした。ところが逆に、ネット上でのチャットやゲームを利用する頻度の高い生徒の割合が高く、その増加の程度が著しいという指摘も受けておりました。

いま、学校では、一人一台端末や電子黒板を活用する授業を充実していくことで、こうした課題を克服していこうと取り組んでいるところです。

そうした中で、生徒の皆さんが家に帰ってからの ICT 機器との関り方については、昨年度にもお伝えしましたが、さまざまな課題があるようです。

具体的には、インターネット上での様々なトラブルが起こっております。これは、本校に限らず山形市や山形県全体でも同様で、全国的な傾向といえます。例えば、相手を傷つけるようなことをネット上に書いたり、人の写真を勝手にグループのメンバーに送ったり、個人情報を広めてしまったりということ等が、軽い気持ちで行われてしまっております。昨年 11 月 15 日 (水) の全校道徳の授業で情報主任から話をしましたが、こうしたことは法律でも禁止されており、場合によっては犯罪として検挙されてしまうこともあります。

本来、私たちの生活をより豊かなものにしていくためのものが、私たちを苦しめるようにならないようにしなければなりません。そのためには、一人ひとりの心がけが大切です。これからの時代における ICT の活用は、ますます欠かせないものになってきます。ルールを守り、人を傷つけたり、トラブルに巻き込まれたりすることなく、上手に有効に活用していきましょう。

なお、総務省ではインターネットに関わるトラブル事例集 (※) を出しています。是非、読んで参考にしてください。

※「インターネットトラブル事例集 (2023 年版)」(総務省)

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)

